

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	61 64	利用者とのコミュニケーションが少ない。	一人一人の思いや希望を毎月一つは聞き取る。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人と意識してコミュニケーションを図り、会議などで毎月担当者が発表する。 話しやすい雰囲気づくりに努める。 	6ヶ月
2	45	(2階)加齢に伴い、食事・水分摂取量が低下してきている方がいる。改めて食事を楽しめる取り組みをしたい。	(2階)ビュッフェ・バイキング形式やテイクアウトを活用し、楽しめる食事を月1回行う。	<ul style="list-style-type: none"> 嗜好や好みの再調査を行う。 職員も一緒に楽しく食事をし、和気あいあいとした雰囲気をつくる。 	12ヶ月
3	53	外出が困難になってきている方もいるが、ご利用者の声を聴いていきたいところに行く支援をしたい。	ご利用者個々の希望を聞き、月に1回以上は行きたい場所に出かける。	<ul style="list-style-type: none"> 個々に行きたい場所を聞き、近隣やテラスでの日光浴、畑や庭に出る機会持つ。 季節感を感じられる行事企画をし、行事にお誘い、参加を促す。 ご家族やボランティアに協力していただく。 	12ヶ月
4	19	(2階)「その人らしい暮らし」をより支援につなげたいが、十分に介護計画に生かせていない。情報共有がしっかりされていない。	ご利用者個々のその方の望む暮らしにつながる情報を再確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 各担当介護職員がご本人やご家族に生まれた時から今までの生活状況、趣味、大切にしていること、嫌なことなどを聞く。 チームでその方への支援を明確にし、特に望む生活に関する情報を共有するため記録や申し送りを増やす。 支援をお試しでも行い、評価する。それに対して目標や計画を見直すなどを継続する。 	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。